

大岳救難所の救助船「おおたけ2」が、転覆した漁船の船底につかまっていた男性船長を救助

平成29年8月9日午前8時24分に、博多湾能古島西方で漁船が転覆しているのを航行中のフェリーが発見、福岡海上保安部に通報が入った。

通報を受けた福岡海上保安部では、所属巡視艇を救助に向かわせるとともに、平成28年10月福岡市東区大岳に配備された公益社団法人福岡県水難救済会大岳救難所所属救助船「おおたけ2」に救助要請を行った。

救助要請を受けた救助船「おおたけ2」は強風吹き荒れる博多湾のなか、ものともせず直ちに出勤、現場に急行した。

現場海域に到着した「おおたけ2」は、転覆した漁船の船底につかまっていた男性船長を安全かつ迅速に救助、無事に福岡海上保安部所属巡視艇に引き渡した。

8月9日（水）の九州北部の気象は、低気圧と南から吹き込んだ暖かく湿った空気の影響で、局地的に非常に激しい降雨、風速20メートルを超える強風が吹き、大気の状態が不安定となっていた。

気象台では、福岡市付近で発達した積乱雲の通過により竜巻などの突風が発生したと見られるとして、午前8時49分、福岡県の福岡地方と筑後地方に「竜巻注意情報」が発表された。

転覆した漁船は、この突風であおられた可能性もあり、福岡海上保安部で調査している。



急行する救助船「おおたけ2」



転覆した漁船



救助された船長

